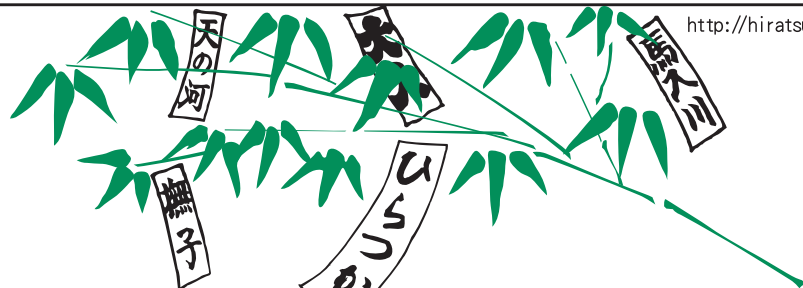




2013～2014年度 国際ロータリーテーマ
ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES
 「ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を」



http://hiratsuka-rotary.jp

HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 牧野國雄 ●副会長 常盤卓嗣 ●幹事 清水 裕 ●会報委員長 青山紀美代 (2013～2014年度) E-mail:hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:15～13:30 ●会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ●事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第2923回例会 2013年12月12日 グランドホテル神奈中 週報第2923号

上期情報集会報告

テーマ「**会員増強についてあなたは どう思いますか**」
 ～一人でも多くのよりよい仲間を増やすには!!～

情報集会グループ各位

会 長 牧野國雄
 クラブ研修委員会

平塚ロータリークラブ情報集会 テーマについて

会員各位には日頃より平塚ロータリークラブの活動に
 対しましてご協力を頂き誠に有り難うございます。皆様
 方のお陰をもちまして、「七夕まつり」「花火大会」「よ
 い音楽に親しむ会」「地区大会の参加」「公式訪問」等事
 業も順調に推移しております。

さて、いよいよ上半期情報集会の開催時期がやってま
 いました。情報集会はクラブ会員の情報伝達の一つと
 して、テーマに沿って参加者全員で活発な意見交換をす
 る場であり、その意見を今後の活動の指針とするもので
 あります。

本年度上半期のテーマは「**会員増強についてあなたは
 どう思いますか**」(一人でも多くのよりよい仲間を増や
 すには!!)です。会員増強はロータリーの永遠のテーマ
 の一つであり、大切なことでもあります。友情を深め、会
 員相互による自己改善を図り、地域社会での意義ある奉
 仕活動を行うために、会員増強が不可欠であります。歴
 史と伝統ある平塚ロータリークラブがロータリーのリー
 ダーとしてあるために、よりよい仲間をクラブに迎える
 事を全員で考えましょう。

参加者全員の発言をお願いします。そして大いに懇親
 を深めて下さい。

赤グループ 山本 智幹事 発表

◎異業種交流はとて刺激があり人脈も広がる
 いない業種に的を絞る、誘う

◎1業種1人にこだわる必要はない

幅広い業種の方々が入会しており、ずいぶんと業種が
 広がってきている

同業種にも様々な専門分野の違いがある、もっと細分
 化してもよいのではないかと

親睦・情報交換のために入りたい人はどんどん入れる
 のが良い

個人でも事業や職業(自営)として広げていく
 規定があるのであれば、こうした観点での改訂が必要
 ではないかと

◎常に「**会員増強**」を唱え続けることが重要である

例会のつど、常に唱え続ける、言葉にし続ける
 ロータリーを説明しにくく「おもしろいから入りなよ」
 「あいつがいるからお前入れよ」

◎適正人数は何人なのか?

東京のあるクラブでは120人や150人いるクラブの
 例では一体感に薄れが起きている

卓話がなく、本業ビジネスの取引場所になっていると
 ころもある

恒常的な参加が「義務」

好きな時にいけばよい、では困る

誰でも入れるわけではない

橙グループ 飯塚和夫幹事 発表

橙グループでは、平成25年12月5日木曜日に、鶴
 井会員のご協力を頂き、「キッチン伊志川」において、
 本年度上期の情報集会を行いました。年末の多忙な時期
 ではありませんでしたが、グループのメンバー6名に加えて、
 事務局の左近允さんにもゲストとしてご参加頂き、「会
 員増強についてあなたは どう思いますか」をテーマとし
 て、充実した議論をすることができましたので、その内
 容について、ご報告させていただきます。

橙グループでは、会員を増強するためには、会員自身
 がロータリーの良さを自覚することが必要であるとの観
 点から、先ず、ロータリークラブの持っている良さや魅
 力について議論することにしました。この点、ベテラン
 の会員の中から、ロータリーでは会社の中と違って年配
 の会員と若い会員が対等の立場で話し合うことができ
 るので、若い世代の本音の話が聞けるというメリットがあ
 るという意見が出され、若手会員からも、平素はアポを
 取ることも容易ではないような色々な業種のトップクラ
 スの会員と日常的に接触でき意見交換ができるのは有益
 であること、ロータリークラブは様々な会員の意見を取
 り入れて活動している民主的で有意義な組織であり、入
 会前に感じていた「敷居が高い」というイメージではな
 いことが指摘され、特に色々な業種のスペシャリストが
 集まっている専門家集団であり、その道の専門家の会員
 と話ができるだけでも貴重な経験になるなどという意見
 が出されました。また、ロータリークラブの中では、女
 性会員も積極的に自主的に活発な活動をされている会員
 が多いので、女性の方が活躍する可能性もあることが指
 摘されました。他方、問題点としては、伝統のあるク
 ラブであるだけに会員の高齢化に伴う退会という問題も生
 じるので、この点については、世代交代を意識した新入
 会員の増強が望まれるという意見が出されました。

このような議論を経て、ロータリークラブは魅力のある
 組織であるので、これらの魅力をアピールすることによ
 って会員を増強することが必要であるとの意見で一致
 しました。

そこで、会員を増強するための具体的な方策について
 議論を行いました。その中では、各自が職場や知り合
 いとの付き合いの中で、ロータリークラブに参加する適
 任者に積極的に声をかけて勧誘すること、地元の先輩～
 後輩の関係を活用すること、趣味の活動を通じて会員増
 強を図ることなど、様々な方法があることが再確認され
 ました。その結果、橙グループでは、会員の一人一人が
 リクルーターであるという意識をもって、あらゆる機会
 を通じて会員増強を図ることが必要であるという結論に
 達しました。

情報集会の席では、ほかにも多くの貴重なご意見が出
 されましたが、幹事として記録できた一部のみをご紹
 介させていただきました。以上でご報告を終わります。

黄グループ 鈴木忠治幹事 発表

黄グループ(7名)・橙グループ・青グループの3グル
 ープと一緒にキッチン伊志川で開催。

会員の増強は、毎年毎年の課題であり永遠のテーマ。
 升水さんからは「私の若い頃は会員は、大勢いて85人

<出席報告>

本 日12月12日	会員数 63名	対象者 58名	出席者 47(42)名	出席率 75.81%			
前回11月28日	会員数 63名	対象者 58名	出席者 50(45)名	出席率 79.37%	MUP 2名	計 52名	修正率 82.54%

ぐらい。当時より20～30人は減ってしまった。今年度の会員増強委員会の委員長であります福山（駿）さんは「委員長として責務の重大さを痛感している」。会員の増強は委員長がするものではなく、会員全体で増強していくものと、私たち会員一人一人に協力してほしいと話されました。

具体的な意見として

- ①平塚商工会議所・会議所青年部・法人会青年部といったところでは増強するにあたり、リスト（名簿）があり該当する方に声をかけている。リスト（名簿）は次年度にも引継がれて、今年はダメであってもまた来年と声掛けを続けていく。
ロータリークラブでもそういったリスト（名簿）の作成をしてもいいのではないかと。
- ②2世、3世を発掘していく。そしてロータリーを身近に慣れさせている人から声を掛けてもらう。
- ③同業種でも最近は同一クラブに入会可能になっている。以前はお医者さんが多かった。黄グループにも福山先生がいて「お医者さんは、普段接する人が患者さんばかりで、普通の人と話したい」。平塚ロータリークラブには、今現在、眼科・産婦人科・耳鼻科等の先生がいない。知り合いがいれば声を掛けてほしい。

まとめとして

楽しいことをやっていたら会員は増えるもの。ロータリークラブは人の交流が醍醐味であり、新しい人が来れば楽しくなる。会員増強のテーマである「自分と同じ思いを持つ人と一緒に奉仕をやり、一度の人生を大いに楽しみ合える人を、どんどん増やしていきましょう」という意見にまとまりました。

緑グループ 日坂泰之幹事 発表

2月9日 18：30より、神奈中グランドホテルにて上期情報集会、緑グループを開催いたしました。参加者は6名にて約2時間程度の開催でした。下記にてまとめました。

- ロータリーを楽しむことができる環境を作る事
 - 良い伝統を守るけど、進化も続けなければならない
 - 新入会員推薦者がしっかりアフターフォローする事
 - 卓話の質を向上させる事
 - メイクアップやクラブ交流をしやすくする。またもつと受け入れる事
 - なんだか敷居が高いクラブとみられがちなので、フレンドリーなクラブ作りをする
 - 駅前やラスカなどに、ロータリー開催情報を広告PRしておく
 - 新会員同士や会員同士の色々な情報共有をする
 - ロータリーの素晴らしいところを教えること
 - 1年目はノーと言わず参加し、2年目は自分で考え参加し、3年目で一人前のロータリアンを目指す！このような教育プログラム作る
 - 増強委員に任せないで1人1人が頑張る事
- 以上です。簡単ではございますが、上期情報集会、緑グループの発表とさせていただきます。

青グループ 田島裕巳幹事 発表

青グループには鶴井会員がいらっしゃる関係で、12/5（木）18：30～キッチン石川にて6名で開催しました。『会員増強について、あなたはどのように思いますか』のテーマにつきまして私自身が入会、間もなく慣れもなくあり、そして業務都合で早退予定のため、大先輩にご意見を伺う方式で行いました。皆さまのご意見を要約しますと、下記のとおりです。

- 歴史と伝統ある『平塚ロータリークラブ』では『増強』ありき、また『増強』一本ではなく、近々60年になる伝統を受け継ぎ、レベルの高い・質の高い、そしてジャンルにこだわらず幅広い業界で、年齢に関しても若い方・中堅・年配の方と幅広い層の会員を増やして行かなければならない。
- また、敷居が高いとかなく、ネクタイをしめて、毎週木曜日にしっかり予定を確保し、実際に来られる人も必要。
- 別の角度からでは、女性会員の方を可能な限り増やす。
- 商工会議所・JC会員・青年会議所会員のなかで。地域に根差している団体を探してみるのも一つの方法。
- 入会する側からすると、勧誘する側が安心感を出し、無理やりではなく、しっかりと説明し、数人でアプローチも時には必要。
- 新しい人を入会させるには、最も簡単なのは、毎週木曜日の貴重な時間を楽しまなければならないと思う人、そして『平塚ロータリー』の良さを1回の例会も油断せず、楽しんでもらう人。そのような人に入会し

てもらいましょう。
等、様々なご意見を頂戴しました、皆さまからのご意見を伺うことにより、私自身の意識改革もあり、自己改善につながりました。

紫グループ 豊川忠紀幹事 発表

実施日時 平成25年12月3日 18:00より

実施場所 経済懇話会

参加者 柏木 茂・清水 裕・高橋賢二・升水一義・森 誠司・豊川忠紀 以上6名

以下、参加者からの意見をまとめます。

◎**会員を増やすことについて**

当然増やしたほうがいい。
会を存続させる為にも必要
(クラブ予算について40～50名が損益分岐点であろう)
(ロータリークラブ会員は世界的に減少基調。日本に於いても同様)
人財が増えればクラブの事業のクオリティーを上げられる。
社会的にも意義を果たすためにも必要
単に数を増やすのはいかがなものか。

◎**募集について**

1業種全会員の10%を越えてよい範囲で(会員数51名以上のクラブでは)募集できることを再確認しよう。「ロータリーって何？」の問いに説明が難しい。
相手に説明をするときにロータリーの理解を深めることになる。
会員が紹介できるのは、本人がクラブの活動を面白いと思うかどうか。

◎**平塚において**

卓話に招待して実際に見て頂こう。
広報に力を入れよう。
会員分類を見直して、居ない職業の方を募集しよう
会員の中に医師がいない(検診をどうするのか) IT分野も強化したい。

◎**結論**

平塚ロータリークラブをより良い団体にする為の人財に会員になって頂き出席してもらおう。

<委員会報告>

●**プログラム委員会 清水孝一委員長**

来年1/9（木）の例会は、恒例のNew Year Concertを開催いたします。お知らせにあるとおり今回は『南部なおと』さんによるギターと歌のコンサートです。皆様是非御出席いただきたくお願い申し上げます。

<会長報告>

◎**11月21・28日の例会時に行いました台風災害支援の募金は、伊豆大島へ42,500円、フィリピンへは40,000円のご協力をいただき有難うございます。ガバナー事務所へ送りました。**

<幹事報告>

◎**平塚音楽家協会第31回定期演奏会・日本の洋楽 そのV開催のお知らせ**

日時：2014年1月19日（日） 14：00 開演
会場：平塚市中央公民館大ホール
内容：作曲家 中田善直氏の作品（童謡）
*招待券を2枚いただいております。先着順とさせていただきます。

<メイクアップ>

2名
鈴木忠治・片野之万 会員

<本日のスマイル>

16名

<ゲスト・ビジター>

0名

<卓話・行事予定>

1月16日（木）クラブ研修委員会 升水一義委員長
23日（木）入会記念卓話 粟野 裕会員
30日（木）→2/1（土）第8グループIM
会場：大磯プリンスホテル
2月 6日（木）プログラム（卓話予定）
13日（木）プログラム（卓話予定）

<市内例会変更>

平塚北	12/24（火）	移動・忘年会
平塚西	12/25（水）	休会
平塚南	12/27（金）・1/3（金）	休会